

検査ニュース

Vol. 3 No. 5

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、検査内容「インフルエンザウイルスA型・B型（HI法）」の変更および検査項目の紹介「遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画（血中）」についてご案内致します。

佐賀県健康づくり財団
佐賀県健診・検査センター
専務理事 志 田 正 典

●検査内容変更のご案内

◆インフルエンザウイルスA型・B型（HI法）（令和元年11月1日ご依頼分より）

使用ウイルス抗原株を、本年度ワクチン製造株に変更させていただきます。なお、検査方法および基準値等の変更はございません。

案内書掲載頁	項目コードNo	検査項目	ウイルス抗原株	
			現	新
62	1851	(H1N1) インフルエンザウイルスA型	A/シンガポール/GP1908/2015 (H1N1)pdm09	A/プリズベン/02/2018 (H1N1)pdm09
		(H3N2)	A/シンガポール/INFIMH-16-0019/2016(H3N2)	A/カンザス/14/2017(H3N2)
	1848	B-1 インフルエンザウイルスB型	B/プーケット/3073/2013 (山形系統)	変更なし(山形系統)
		B-2	B/メリーランド/15/2016 (ビクトリア系統)	変更なし(ビクトリア系統)

pdm: Pandemic

●検査項目の紹介 ★褐色細胞腫の診断補助に、血漿での測定が可能になりました。

◆遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画（血中）（検査受託可能）

遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリンは、血圧上昇に関わるカテコールアミンであるアドレナリン・ノルアドレナリンの代謝産物であり、神経終末や標的細胞内において、カテコール-O-メチル転換酵素COMT (catechol-O-methyl transferase) の作用により生成されます。

褐色細胞腫は、主に副腎から発生する稀な腫瘍であり、高血圧、頻脈、頭痛、不安感などの多彩な非特異的症候を呈します。褐色細胞腫では、カテコールアミンの過剰産生に加えCOMTが高発現しているために、腫瘍由来の遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリンが持続的に放出され、血中濃度が上昇します。蓄尿検体を用いた従来の方法では、遊離型と抱合型のメタネフリン・ノルメタネフリンが測定されていますが、血中の遊離型を測定することで、腫瘍の状態をより正確に把握できると言われています。

検査項目	検体量(mL)	容器	実施料判断料	所要日数	検査方法	基準値(単位) ※1	備考
遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画(血中)	血漿 1.5	① EDTA-2Na (グリコ)	320 ※5	事前にご確認下さい。	ELISA	遊離メタネフリン: 130以下 遊離ノルメタネフリン: 506以下 (pg/mL)	測定値が上昇するおそれがあるため、空腹時に仰臥位にて20分間安静にした後に採血してください。

※5 免疫学的検査判断料

※1：基準値は、空腹時に仰臥位にて20分以上安静にした後に採血した検体を用いて設定されています。